

平成22年度「京の文化振興プラン」関連事業一覧

(単位:千円)

区分	事業名	事業概要	平成22年度達成状況	部局	H22予算額	
次世代の文化創造について	京都から拓く 新しい国民文化祭創造事業費				315,700	
	国民文化祭京都開催準備費	平成23年国民文化祭の京都開催に向けて、開催準備最終年を迎え、主催事業の開催準備を進めるとともに、積極的な広報活動を展開し、府民総参加による気運の盛り上げを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合フェスティバル(開閉会式、パレード)等府主催事業の実施計画を策定。 ◆総合フェスティバルの早期準備に着手し、出演者の募集や合同練習等大会運営への府民参画を促進 ◆企画段階から府民参画を得る国文祭「京都モデル」の創造に向けて、①府民企画の推進、②次世代・若者企画の推進、③京都文化力の発信という3つの視点を踏まえた京都ならではの取組として「まゆまろチャレンジ事業」を専門委員会を中心に調整 ◆国文祭主催事業の円滑な実施及びび内挙げての体制で推進するため、「京都府推進本部」を設置 ◆府実行委員会に「宿泊・輸送・観光本部」を設置し、全国規模の宿泊・輸送等の参加者受入体制を確立 ◆府実行委員会に、主要な旅行業者等も参加する「京都文化年誘客協議会」を設置。埋もれていた地域の文化・観光資源を掘り起こし、地域発の参加・体験型旅行商品の開発等を推進 ◆府内全26市町村が1年前プレイベントに参加し、開催本番を見据えた多彩な催しを府内各地で実施 ◆「1年前フェスティバル」(10/31京都府会館)でリレーシンポジウムや高校生の発表、東條秀樹ミニコンサート等を実施。 ◆国文祭開催300日前及び京都文化年のスタートを多数の府民などに幅広くPRするため、京都駅前においてカントダウンホードによるスタートセレモニーを実施(23年1/2) ◆全国的にも知名度の高い京都ゆかり(又は京都で活躍している)著名人を対象に、国民文化祭や京都の魅力をPRする特命大使10名を任命 	文化環境部	226,000	
	府民総合文化力向上事業費				—	59,500
	(1)京の文化力をはぐむ取組				—	20,800
	○やる気と創造の機会づくり				—	3,800
	京都アートフリーマーケット事業費(文化創造ネットワーク事業費)	若手芸術家等の活動支援するためのアートフリーマーケットの開催	<ul style="list-style-type: none"> ◆京(みやこ)のアート次世代作家展の開催 H22.8.17~8.22(京都文化博物館5F展示室で開催) ◆アートフリーマーケットの開催 2010秋(9/18~9/20:京都文化博物館及びその周辺で開催) ◆府文化賞受賞者による講演会(1回:9/3 参加者80人) 	文化環境部	(再掲)	
	次世代企画展示事業費	アートフリマにあわせた高校生の企画展示	◆高校生の企画運営による展覧会の開催(38校出展、来場者約1,400名)	文化環境部	2,000	
	高校生フォーラム開催費(こころの未来事業)	京都大学「こころの未来研究センター」と協働で、「こころ」を考える高校生フォーラムの開催	◆「こころ」を考える高校生フォーラムの開催(1回)	文化環境部	(再掲)	
	京都工芸・美術ビエンナーレ等事業費	公募・推薦方式により、テーマを設定した工芸と美術それぞれの展覧会の隔年開催(H21工芸)等	<ul style="list-style-type: none"> ◆2011京都美術ビエンナーレは休止 ◆第42回京都野外彫刻展の開催(22年10/2~17:植物園・陶板名画の庭) 	文化環境部	1,800	
	○ほんまもんを体験し、成果を発表する機会づくり				—	17,000
	京都次世代総合文化祭開催事業費	次代を担う子どもたちが自ら参加し創造する機会として、次世代総合文化祭を開催	◆古典芸能、伝統工芸、音楽などの分野において、次代を担う子どもたちが自ら参加し創造する機会を提供(5地域で11事業実施)	文化環境部	8,000	
	高校生大茶会・新世代いけばな展開催事業費	高校生大茶会(次世代総合文化祭の一部)、新世代いけばな展の開催(いけばな展は現代写真作家展と隔年開催)	◆高校生が主体となった「大茶会」の開催(北部会場、京都会場、南部会場、来場者約800名)	文化環境部	5,500	
	京の次世代文化お手伝い体験事業費	小・中学生を対象とした「生の文化」に触れることを通じた文化お手伝い体験の実施	◆府内の小・中学生を対象に、邦楽、能楽、茶道、陶芸、紙漉、竹工芸など60プログラムを実施	文化環境部	1,000	
	内弟子プロジェクト文化体験事業費	高校生を対象に、芸術家や伝統産業等の職人さんの創造・創作活動に一定期間体験できる機会の提供	◆府内の高等学校の文化系クラブを対象に、美術・工芸、茶道、邦楽、放送、ロボット制作など11校で実施	文化環境部	2,500	
	(2)府民の文化力を向上する取組				—	38,700
	「まちかど美術館」事業費	府有美術品等を展示する「まちかど美術館」事業を三条高倉界隈及び府庁周辺地域等で実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆三条高倉まちかどミュージアムの実施(11/6~14:三条高倉界隈) ◆府庁界隈まちかどミュージアムの実施(10/30~11/21:府庁界隈) 	文化環境部	1,500	
	地域文化活動支援事業費	アマチュア等が参加する伝承・復興・創造等の地域文化活動の支援	◆3月末現在で16事業予定	文化環境部	11,000	
	舞台芸術振興・次世代体験推進事業費	次世代体験等を組み込んだ舞台芸術公演の開催等	<ul style="list-style-type: none"> ◆委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・京都ゆかりの次世代アーティストの育成プログラム(4事業:文芸会館等) ・京都発 舞台芸術の創造・発信プログラム(4事業:府民ホール等) ・古典芸能特別公演(2事業:文芸会館) ・府民との協働・参画プログラム(4事業:文芸会館等) ◆補助事業 <ul style="list-style-type: none"> 乙訓管内1事業、山城広域振興局管内4事業、南丹広域振興局管内1事業、中丹広域振興局管内2事業、丹後広域振興局管内2事業 	文化環境部	17,000	
	次世代等古典芸能普及促進事業費	次世代体験等を組み込んだ古典芸能公演に対する助成	◆能、狂言、歌舞伎、邦舞、邦楽等の次世代体験を含む公演に対して助成を実施(27団体)	文化環境部	9,200	

区分	事業名	事業概要	平成22年度達成状況	部局	H22予算額	
次世代の文化創造について	京都から拓く 新しい国民文化祭創造事業費					
	国民文化祭推進事業費	文化団体等の国民文化祭への派遣支援等	◆第25回国民文化祭おか・やま2010に文化団体等を派遣(19団体432人)	文化環境部	1,000	
	京都学生祭典開催助成費	大学生自らが企画運営する「京都学生祭典」による京都の学生文化や伝統文化の世界への発信	◆京都学生祭典を開催、学生による音楽コンテスト(KyotoStudentMusicAward)、オーケストラコンサート(DreamOrchestra)、全国おどりコンテスト、ファッションショー(KyotoFashionExpo～SAI～)などを実施(10/9～10)	政策企画部	6,000	
	文化の力をはぐくむ「京育」推進事業費	高校文化部活動の活性化と京都文化の次世代への継承	◆府立高校文化部を育成文化部に指定、外部指導者による技術指導を実施 ◆小・中学生や地域の文化的行事における発表、展示、実技指導等を実施	教育委員会	18,000	
	古典の日推進事業費	古典の日推進フォーラムや、小・中・高校生が古典に親しみ学ぶ朗読会等の実施	◆推進フォーラムの開催(京都、東京) ◆朗読コンテスト、街かど古典カフェ(6講座)、語り部派遣(7件)、歴史ウォーク(2コース)の開催 ◆小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会の開催(各教育局毎に実施)	文化環境部 教育委員会	5,200	
	こころの未来育み事業費	京大大学「こころの未来研究センター」と協働で、地域との連携研究成果を府民に還元するためのセミナー等の実施	◆セミナー「こころの広場」の開催(3回) ◆「こころ」を考える高校生フォーラムの開催(1回) ◆シンポジウム「京都における癒しの伝統とリソースへのフィールド研究」の開催(1回)	文化環境部	2,000	
	青少年文化活動育成事業費	子どもたちへ舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、文化創造活動の発表の場を創出(府・市共催事業)	◆次の4公演を実施 「エンゼルの新しい音楽会」(5/5)「エンゼル名作劇場」(7/25) 「エンゼル音楽会」(12/5)「エンゼルファミリー音楽会」(3/13)	府民生活部	400	
	「こころの京都百選」事業費	京都文化年を機に、「こころの京都」をテーマとした日本画を制作	◆「こころの京都百選」日本画制作委員会を開催し、委嘱作家88名を選定。88名の日本画家に対し個別に委嘱を打診し、86名から内諾	文化環境部	1,000	
	国民文化祭発進力アップ事業費	ブレ国文祭と連動し、開催機運を一層高め、本番につながる気運を醸成	◆テレビ局と連携し、府内各地でのイベントや地域の取組等を紹介 ◆「メルパルク京都」ロビー(京都駅前)等の活用とともに、パンフレット等の配布によるPR ◆PRキャラバン隊「まゆまる一座」を結成し、府内外で広域的なキャンペーン活動を展開	文化環境部	19,600	
	次世代の文化創造について 合計(再掲を除く)				19事業	338,700
文化力による京都活性化について	文化創造ネットワーク事業費	若手作家等と鑑賞者(購買者)との出会いの場となる「アートフリーマーケット」の開催等	◆京のアート次世代作家展の開催(8/17～8/22) ◆アートフリーマーケットの開催 2010秋(9/18～9/20:京都文化博物館及びその周辺で開催) ◆古典の日関連講演会(1回:9/3 参加者80人)	文化環境部	1,000	
	京都文化博物館整備費	京の文化力の推進を図るため、老朽化した施設・設備を整備	京都の文化力=まるごと「ほんまもん」で体感する新しい京都文化の博物館としてリニューアルオープンできるよう、平成22年12月から休館の上、工事に着手。平成23年7月のリニューアルオープンに向け整備中	文化環境部	875,000	
	京都文化ベンチャーコンペティション開催費	「京都文化ベンチャーコンペティション」の開催及び文化ベンチャーネットワークによる支援	◆応募件数387件 (文化ビジネスモデル部門27件、文化ビジネスアイデア部門360件) ◆23年3月6日に最終審査(公開プレゼンテーション)開催。京都府知事賞をはじめとする各賞受賞者を決定 ◆1次審査後、最終審査までの間、審査通過者に対して、ブラッシュアップを実施し、ビジネスモデル等の熟度向上を支援(セミナー2回、個別指導1回、プレゼン練習会1回) ◆文化ベンチャーネットワーク開催(5回)	文化環境部	7,000	
	映画・映像人材育成事業費	京都府、ドイツ文化センター、民間映画産業等との協働で若手育成プログラムを実施	◆若手才能発掘・育成ラボの開催(22年12/7～12/12:東映京都撮影所ほか)映画制作の本格研究、映画技術の学習プログラムを実施(19名) ◆ドイツから映像プロデューサーを招聘	文化環境部	2,500	
	京都から拓く 新しい国民文化祭創造事業費(再掲)				文化環境部	(再掲)315,700
	「こころの京都百選」事業費(再掲)				文化環境部	(再掲)1,000
	国民文化祭発進力アップ事業費(再掲)				文化環境部	(再掲)19,600
文化力による京都活性化について 合計(再掲を除く)				4事業	885,500	
合 計				23事業	1,224,200	